

## 【ポスター発表】

## 介護福祉士国家試験受験対策にかかる社会福祉士の役割に関する一考察

## —科目別ポジショニングマップの作成と索引・見出し語の対照を通じて—

○宮本 秀樹（常磐大学・006676）中川 健司（常磐大学・008164）

中村 英三（常磐大学・004368）山岸 周作（上田福祉敬愛学院・005874）

〔キーワード〕 介護福祉士国家試験科目、ポジショニングマップ、見出し語カバー率

## 1. 研究目的

社会福祉士国家試験と介護福祉士国家試験は重なる部分もあるが、内容的な異なりも少なくない。そのため社会福祉士有資格者が介護福祉士国家試験を受験する場合、また、同試験を受験する者に対して学習サポートを行う場合、どの分野で自らの専門性を生かすことができ、どの分野ではそうでないのかということが課題の一つとして考えられる。

本研究の目的は、「介護福祉士国家試験科目にかかる親和性」と「両試験にかかる索引・見出し語の対照」とを関連づけながら、介護福祉士国家試験科目の中で、社会福祉士がその強み（≒専門性）を発揮できるものを仮説的に模索することにある。

## 2. 研究の視点および方法

(1) 介護福祉士国家試験科目にかかる親和性(なじみ性、具体性・抽象性)についての調査

## ① 調査の枠組み

第24回（平成23年度）介護福祉士国家試験の各科目の問題文(12科目、全120問)を見て（実際に問題は解かない）、「なじみがある（7点）⇔なじみがない（1点）」「抽象性が高い（7点）⇔具体性が高い（1点）」という2つの尺度をクロスさせながら集合としてのデータを判定する。実施方法としては、1～7までの該当する数字に○をつける（自記式による集合調査）。なお、標準は4点で、データ処理としては、0.5点刻みの得点とする。

## ② 調査の実施

調査名称	学校の種別	実施時期	対象学年	人数
調査A	社会福祉士養成校 大学・4年制	2012年 2月	4年生（社会福祉士国家試験直近の受験者）	14名
調査B	介護福祉士養成校 専門学校・2年制	2012年 5月	2年生（直近の介護福祉士取得予定者）	32名

(2) 科目別介護用語と社会福祉用語との「重なり」にかかる調査

先行研究で選別した科目別介護専門用語と社会福祉用語辞典（N社）の項目一覧を照らし合わせて、その「重なり」を調べた。

## 3. 倫理的配慮

本研究に際して、研究の目的・方法やデータの取り扱いに関する倫理的配慮に関する説明を調査協力者に行ったのち、了解を得た上で調査実施と分析を行っている。

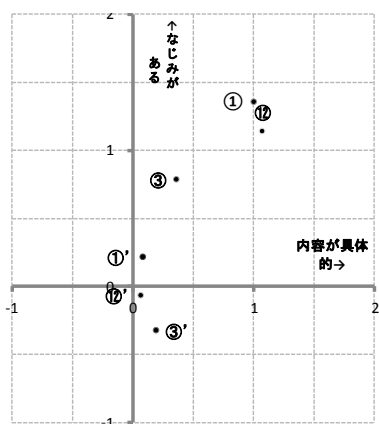
4. 研究結果

表1 調査結果（前記2-(1)、2-(2)）について ～科目に関する認識の違い～

介護福祉士国家試験科目名 (出題数)	見出し語 カバー率	調査A		調査B		比較	
		なじみ性	具体性	なじみ性	具体性	距離	距離順位
①人間の尊厳と自立(2問)	55.6%	1.36	1.00	0.22	0.08	1.46	2
②人間関係とコミュニケーション(2問)		1.36	0.79	0.98	0.92	0.40	8
③社会の理解(12問)	61.7%	0.79	0.36	-0.32	0.19	1.12	3
④介護の基本(16問)	52.5%	0.71	0.86	0.50	0.61	0.32	9
⑤コミュニケーション技術(8問)	38.6%	0.71	0.93	0.72	0.91	0.02	12
⑥生活支援技術(20問)	26.5%	0.50	0.86	0.66	0.95	0.18	10
⑦介護過程(8問)	44.9%	0.64	0.93	0.21	0.73	0.48	7
⑧発達と老化の理解(8問)	17.1%	0.71	0.86	0.66	0.77	0.10	11
⑨認知症の理解(10問)	40.1%	1.29	1.29	0.78	1.11	0.53	5
⑩障害の理解(10問)	40.8%	1.29	0.36	0.41	0.40	0.88	4
⑪こころとからだのしくみ(12問)	18.7%	1.07	0.50	1.06	1.00	0.50	6
⑫総合問題(12問)	51.5%	1.14	1.07	-0.06	0.06	1.57	1

※ 見出し語カバー率…科目別介護専門用語と社会福祉用語辞典の項目一覧との一致率

図1 「なじみ性」「具体性」にかかる座標の距離の大きい3科目 ～表1の「比較」より～



仮説と仮説からの提言)

科目「①」「③」「⑫」は、介護福祉士専攻の学生にとって難しい（学びにくい）と類推される科目であり、これらの科目は介護福祉士国家試験の中で、社会福祉士の強みが発揮しやすい可能性がある。

5. 考察 ～ 仮説と仮説からの提言を踏まえて～

- (1) 科目「①」…問題数が2問（事例と理論）→ データ量的に仮説の関連付けは留保
- (2) 科目「③」…事例の2問を除き、残りは制度論に関するもの。科目「⑩」も制度論に関する問題が多い。科目「③」「⑩」等は、介護専攻者にとって、「とっつきにくさ」が想像され、社会福祉士の強みが発揮しやすい領域であると推察される。
- (3) 科目「⑫」…12問すべてが事例問題である。介護専攻者にとっての「とっつきにくさ」の背景として、年齢、生活経験等の要素が推測される。この背景因等を考慮すれば、社会福祉士の強みが発揮しやすい領域であるとの推察に関しては留保。